

様式第4号



令和元年度 補助金決算効果報告書

令和2年4月25日

府中市長様

事業所の所在地 府中市府川町315番地

会派名 日本共産党

代表者名 檜崎征途

府中市補助金交付規則第10条の規定により、次のとおり事業実績及び収入支出決算を報告します。

(1) 事業実績

- | | |
|----------|-----------|
| 1 事業名 | 政務活動費 |
| 2 補助金額 | 240,000 円 |
| 3 補助金の効果 | |

◆議員としての資質向上を目指す活動の推進

(1) 北九州市、臼杵市、豊後高田市への視察から学んだこと

《北九州市・安川電機》

- ① 安川電機は自動車産業界を中心に導入されてきた産業用ロボットを生産する企業。日本で1, 2位のシェアを持っている。
- ② 現在のテーマは「人間とロボットの協働」。2日後の地元紙にもその取り組みが紹介されていた。府中市もこうした技術を今以上に導入し、さらに発展していければと思った。

《北九州市・いのちの旅博物館》

- ① 生命の進化の道筋を自然と人の両面から展示解説している。
- ② 自然史ゾーンでは、太古からの生き物の進化の様子や現在の地球上に住

んでいる多様な生き物を豊富な実物資料によって紹介しているのが興味深い。

- ③ 歴史ゾーンでは、旧石器時代から現在までの北九州の人々の暮らしや営みについて各時代を代表する実物資料をもとにたどっているので、その流れをわかりやすく理解できる。
- ④ 全体を通しては、未来に向けて私たちの生き方を考えるため「いのちの旅」をコンセプトにしているところが素晴らしいと思った。
- ⑤ 現在の府中市にも国府など古くからの遺産が多い。博物館や資料館をよく考え工夫して建設していく必要があると痛感した。

《臼杵市》

- ① 臼杵市は人口 3 万 7 千人とほぼ府中市と同じである。工業では醸造業が盛んで、味噌醤油を中心に江戸末期から主要産業として発展。そこも府中市と似通っている。農業は元祖カボスで有名な柑橘類を生産している。また、甘しょや葉煙草も生産している。
- ② 昔ながらの町並み・景観を守る取組が民間主導で始まり、昭和 58 年に「第 6 回全国まちなみゼミ」が臼杵市で開催されたことを契機に町並み保存の意識が高まった。昭和 62 年「臼杵市歴史環境保存条例」を制定。平成 3 年より補助金を出し、歴史的建造物の修復改修工事に着手。実際歩かせてもらいましたが『回遊性をもつ散策路』が素晴らしかった。
- ③ この市も人口減が大きな課題。少しでも移住・定住を進めようとする取り組みがなされていた。移住希望者向けの『モニターツアー』を年 3 回～4 回行ったり、「臼杵ハウス」と名付けた『移住体験滞在施設』で最長 7 日間、臼杵の雰囲気を感じてもらったりしている。また、「住宅取得に対する補助」「U ターン者への実家などの改修費補助」など移住・定住支援(補助)にも積極的に取り組んでおられた。こうした取組の結果、去年は 95 世帯 220 人が移住している。府中市も学ぶところは多い。
- ④ 仕事さがしにも市が大いに力を発揮しているのに感心した。いくら住みやすい環境でも雇用がなければなかなか移住は進まない。ハローワークからの情報を毎日入手。HP で知らせておられた。ここも府中市に取り入れていきたい。

《豊後高田市》

- ① 大分県豊後高田市。ここも全国ランキングの高位置を占めている。その 1 つが「子育て世代が住みたい田舎」部門。移住者が大幅に増加し、その 8 割が 30 代までの世代である島根県飯南町がトップ。第 2 位の茨城県常陸太田市について堂々 3 位を獲得。総合部門では今回も 1 位だった

のが豊後高田市（人口約2万3千人）である。今回の視察の中心は、子育てに取り組む若者世代に対してどのような子育て支援事業を行っているのかを学ぶことが中心だった。

- ② 子育てのまちづくりの工夫の1つ目は、小さな子どもさんのいる方がだれでも気軽に利用できる室内公園のような「花っこルーム」をはじめ、病児・病後児保育事業、大型遊具の整った「中央公園」、最新の情報システムが導入されている「市立図書館」など、子育てしやすい環境がきちんと整っていることにある。
- ③ 2つ目の工夫は小中学校の給食費、高校卒業までの医療費の無料化を実施しているところにある。市営の無料塾「学びの21世紀塾」など地域と一体となった取り組みによって、子どもたちの学力は長年トップグループを誇るとともに、スポーツにおいても全国及び大分県で上位入賞が相次いでいる。
- ④ 3つ目の工夫としては、子育て応援誕生祝い金は最大100万円を実現しています。子どもさんの誕生に対して、第1子、第2子に10万円、第3子に50万円、第4子以降は4回に分割して年1回交付しています。このほかスマートフォン向けの「子育て支援アプリ」、子育て支援サイト『いいKAMO』で子育てに役立つ情報を知らせている。延長保育や休日保育、さらには「ママ家事サポート事業」などユニークな取り組みも魅力的と言える。

（2）資料書籍から学んだこと

新たに次の書籍を購入して学ぶことができた

- ・「自治体戦略2040構想」と地方自治
- ・「地方自治への招待」
- ・「公共サービスの産業化と地方自治」

こうした書籍より地方自治の原点から地方自治の果たす役割、さらには自治体戦略2040年構想についてその概要をしっかりとつかむことができた。

◆議会の動き、会派の活動を広く市民に伝えていく取り組みの推進

この1年、各定例議会の内容を分かりやすくまとめて広く知らせていく取り組みを進めてきた。

6月議会、9月議会、12月議会、3月議会と日本共産党はすべての議会で一般討論に参加し、会派として決算や予算で総括質疑も行ってきた。

こうした取り組み内容を自分たちでまとめていくことで、不十分な点を反省

でき次の議会に向けての課題も明らかにすることにつながった。

この1年、各定例会の後、会派として「議会報告」を作成し市民の皆さんに配布し読んでいただけたことは、大きな成果である。こうした取り組みで、多くの市民の皆さまから市政に対するご意見や会派に対するご要望を聴かせて頂くことができたのが宝ものと言える。

2 収入支出決算書

(単位:円)

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
政務活動費	240,000	研究研修費	
会派活動費	290,290	調査旅費	116,040
		資料作成費	
		資料購入費	3,800
		広報費	410,450
		広聴費	
		人件費	
		事務所費	
		その他の経費	
合計	530,290	合計	530,290

※ 政務活動に要した経費を全て記入してください。